



令和 8 年 (2026 年) 2 月 17 日 公表  
 令和 7 年版 山口県瀬戸内海側重要魚種の資源評価

マダイ (瀬戸内海中・西部系群)

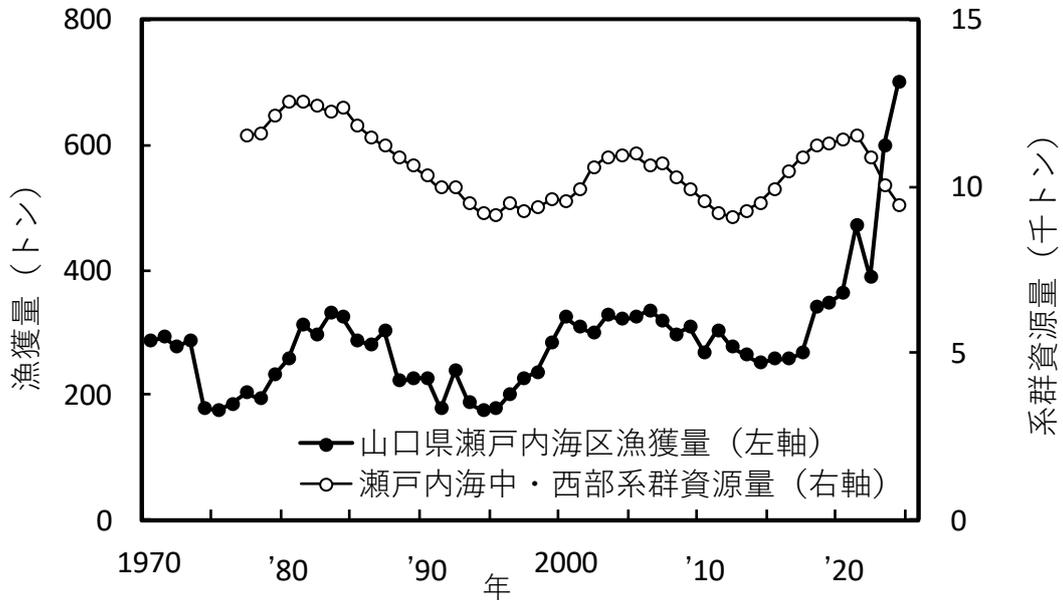


図 山口県瀬戸内海区マダイ漁獲量 (農林水産省統計情報水産業調査 HP) 及び 瀬戸内海中・西部系群マダイ資源量 ((国)水産研究・教育機構資源評価報告書) の推移

【漁業】本系群では主に吾智網、小型底びき網 (以下、小底)、釣漁業により漁獲され、瀬戸内海東部系群と比較して吾智網による漁獲割合が高い。2024 年は吾智網 34%、小底 34%、刺網 14%、釣り 9%、小型定置網 7%の比率で漁獲された。

【漁獲量】山口県瀬戸内海区の漁獲量は、1970 年から 2017 年の間に 174~336 トンの間を増減しながら推移した。2018 年以降は増加傾向となり、2024 年には 700 トン (概数値) となった。

【資源状態】本系群の 2024 年資源量は 9,448 トン、親魚量は 6,390 トンで最大持続生産量 (MSY) を実現する親魚量 (SBmsy、5,700 トン) を上回っている。2024 年の漁獲圧は親魚量を維持する漁獲圧 (Fmsy) を下回っている。親魚量の動向は直近 5 年 (2020~2024 年) の推移から「横ばい」と判断される。

マダイ (瀬戸内海中・西部系群) の資源評価関連指標値等 (単位: トン)

2024 年 漁獲量	最大持続生産量 (MSY)	2024 年 親魚量	目標管理 基準値 (案)	限界管理 基準値 (案)	禁漁水準 (案)
2,176	2,800	6,390	5,700	3,600	200